

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 千代田区 二番町 6-3, 二番町三共ビル 4 階  
TEL 03-5275-1710  
FAX 03-5275-1738



お客様各位

いつも大変お世話になっております。ナットソース・ジャパンでございます。

弊社のオフィス移転に就きましては、お客様に色々ご迷惑、ご不便をおかけしまして申し訳ございませんでした。お陰様で新たなオフィスに移りまして1ヶ月が経過し、通常業務を行う体制が整ってまいりました。我々のオフィス移転と共に、酷暑という言葉が当てはまる暑さもピークを過ぎ、最近では朝晩肌寒さを感じるほどの秋の気配でございます。出張などで移動の激しい方、各地での気候の変化で体調を崩されませんようお気をつけ下さい。体調だけはリスクヘッジは出来ません。

では、今月もニュースレター（NJL10月号）のご案内をさせて頂く時期になりました。本誌をご購読頂いておりますお客様へは、今週 29 日（金）に電子メールを介しての配信を予定致しておりますので宜しくお願い致します。

- ・本誌 2006 年 2 月号で「米国北東部での Cap & Trade 方式による強制的 CO2 排出削減プログラム実施へ」と題してご報告しましたが、温室効果ガス（GHG）の排出量削減に向けた排出量取引制度（RGGI：Regional Green house Gas Initiative）を 2009 年から実施することをアメリカの北東部 7 州が合意し、その基本的な枠組を示した覚書に参加州の知事が署名しました。この RGGI を実施するためのモデル規則の策定作業がこの夏終了し、8 月 15 日に公開されました。モデル規則は、そのまま参加州において適用されるものではありませんが、今後、RGGI 参加州が策定する RGGI を実施するための法律や規則のモデルとなる規定を示しています。そこで、今回は、RGGI モデル規則における規定を見た上で、RGGI が、どのような制度となりうるのかを弊社小松よりご報告させて頂きます。
- ・本誌では定期的にデータのアップデートを行なっているバリデーション申請のために Project Design Document（PDD）が提出されたデータの分析ですが、前回より3ヶ月が経過致しましたので、今回も大谷よりご報告させて頂きます。なお、8月に月次としては過去最高の150件が提出され、これまでに提出されたプロジェクト数は累計でついに1,000件を超えました。本号では、8月末までに提出された1,121件のCDMプロジェクトについて分析させて頂きました。
- ・“京都メカニズム教室”をスタートさせて頂き、第1回目は「京都議定書とは何?」、第2回目は「京都メカニズムとは何?」と簡単にお伝えしてきましたが、今回第3回目は、地球温暖化問題について過去の国際会議の変遷を取り上げ、その歴史を辿ることにより、現在に至るまでの流れを確認できるよう、弊社庭田が纏めさせて頂きました。

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 千代田区 二番町 6-3, 二番町三共ビル 4 階  
TEL 03-5275-1710  
FAX 03-5275-1738



NJL では、排出権、卸電力、RPS などの話題を採り上げ、弊社なりの視点でご報告させて頂いております。各種取引または当社サービスにつきましてのご質問、ご相談などがございます際には、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

下記 URL より過去の NJL の目次を確認することが可能です。

[http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents\\_2005.html](http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents_2005.html)

また、お申し込みはこちら よりお願い致します。

<http://www.natsourcejapan.com/njletter/index.html>

ナットソース・ジャパン・レターに関するお問合せは、[njl@natsourcejapan.com](mailto:njl@natsourcejapan.com) または 03-5275-1710 ( 津金 ) までお願い致します。

今後とも宜しくお願い致します。